



学びの高嶺

学校だより

校訓 感謝・努力・友愛

北九州市立高見中学校

校長 山本 浩三

(令和3年11月16日)

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

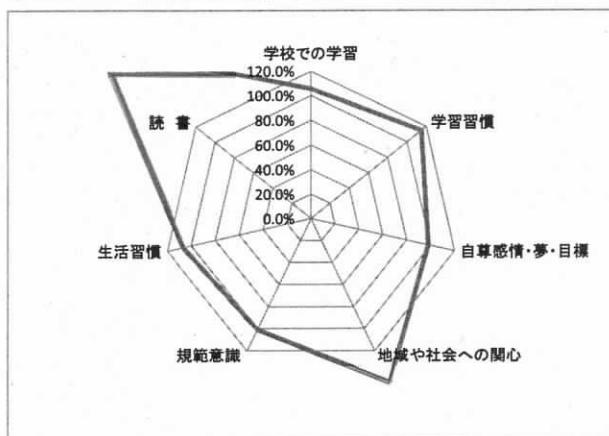
学校の現状を知りたいとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語	全般的に、良好な成果が見られました。特に、国語への関心・意欲・態度に関する問題が好成績でした。	同程度である
数学	成果が十分に見られました。どの領域も全国平均を上回っています。記述式の問題は顕著な成績を収めています。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
学習・生活習慣に関する質問項目とともに、良好な結果が見られました。特に、計画的に家庭学習に取り組むこと、授業の話し合い活動における充実感では、ご家庭と学校での様々な取り組みの成果が見られたと考えています。さらに、読書に親しむ生徒が多いことも本校の特徴で、全国平均と比べても特筆に値します。また、自尊感情に関する質問では、頑張っていることを自信を持って受け止めることができない傾向も見られました。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

新学習指導要領全面実施を踏まえ、特別な教育的支援の視点を重視し生徒一人一人に応じた『わかる授業』、主体的に学びに向かう効果的な学習指導、指導と評価の一体化による学力の向上に取り組みます。

② 家庭生活習慣等に関する取組

引き続き、授業とつながる家庭学習の定着と学び合いの基盤づくりを推進します。また、保護者との良好な人間関係による信頼の構築にも努めていきます。